



YAMAHA

ELECTRIC VIOLIN

EV-204/EV-205



日本語

English

Deutsch

Français

Italiano

取扱説明書

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manuale dell'utente

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。 いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

- ⚠ 記号：危険、警告または注意を示します。
- 🚫 記号：禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
- 記号：行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。



警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または本紙17ページのヤマハ弦打テクニカルセンターにご依頼ください。



弦の交換や調整の際、楽器に顔を近づけすぎない。

弦の先は鋭利になっています。指に刺したらしないよう気をつけてください。また、顔などを楽器に近づけすぎると、不意に弦が切れ目を傷付けるなど、思わぬけがの原因となることがあります。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に音が出なくなったり異常なにおいや煙が出た場合は、すぐに電池を本体から抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または本紙17ページのヤマハ弦打テクニカルセンターに点検をご依頼ください。



本体を濡れた手などで触らない。
汗などの水分を本体に付けない。

感電や火災、または故障の原因になります。

⚠ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。



電池の取り扱いに注意する。

濡れた手で触ったり、+/-の極をショートさせない。

感電、発火などの原因になります。



電池は+/-の極性通りに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れの原因になります。



電池は幼児の手の届かない所に保管する。口に入れたりすると危険です。



使用後の電池は火中に捨てない。

発熱、破裂、発火の原因になります。使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。



長時間使用しない場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。

感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。電気回路の影響により、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に立てない。

機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。

本体が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。



本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損する原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォン(イヤホン)を使用しない。

聴覚障害の原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。



音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。

静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わず声で迷惑をかけてしまうことがあります。

適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつ的方法です。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ごあいさつ

このたびはヤマハエレクトリックバイオリンをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。エレクトリックバイオリンの機能を充分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書と共に大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

* 保証書は本取扱説明書日本語部の18ページにあります。

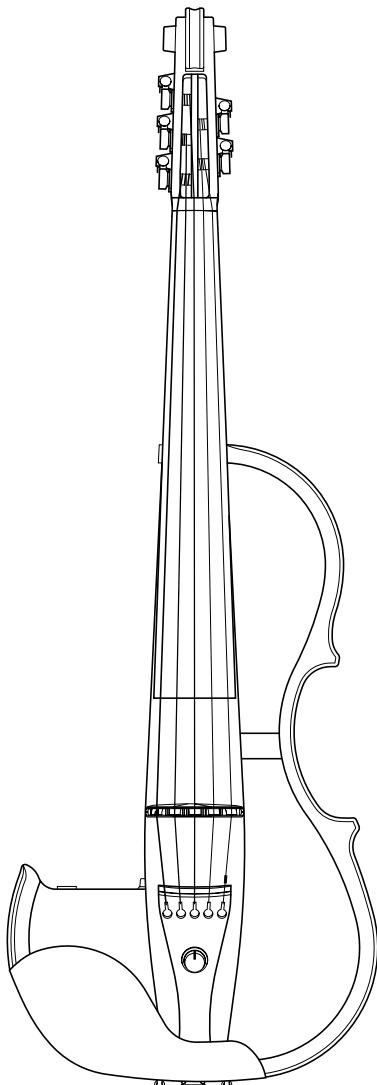
目 次

安全上のご注意	2
本体/付属品	5
本体各部の名称	6
演奏準備	8
■ 駒の設置について	8
■ 調弦について	9
■ 肩当てについて	9
■ 弦の交換について	10
電源の準備	12
使用方法(コントロール部)	13
■ 使用モードについて	13
■ ヘッドフォンを使うには	14
■ 出力音量の調整(マスター・ボリューム)	14
外部機器との接続例	15
本体仕様	16
保証書とアフターサービス	17
保証書	18

本体/付属品

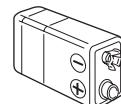
パッケージを開けたら、本体および付属品を確認してください。

●本体



●6F22(S-006P)

9V乾電池×1本

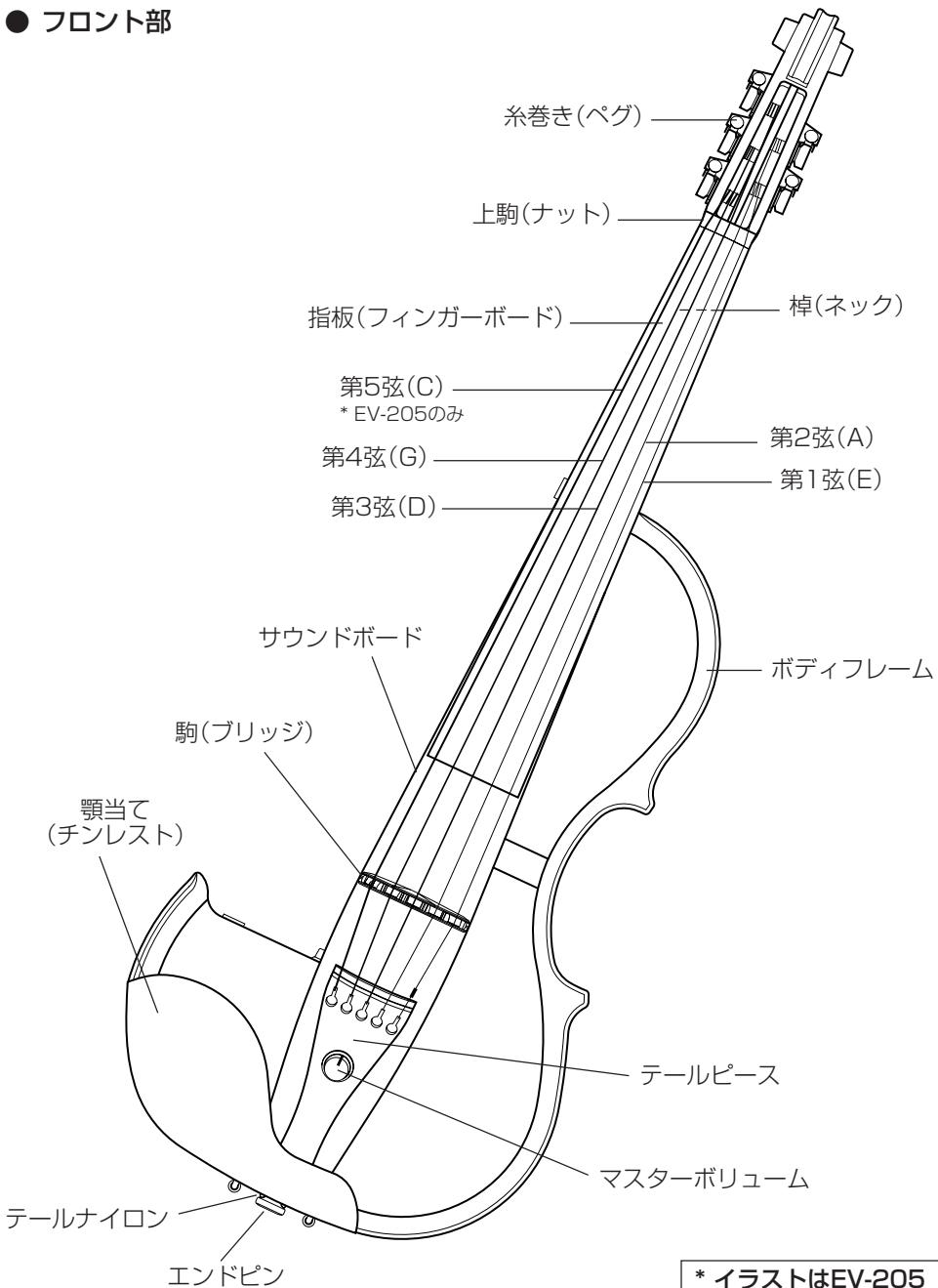


●取扱説明書(本書)

●愛用者カード

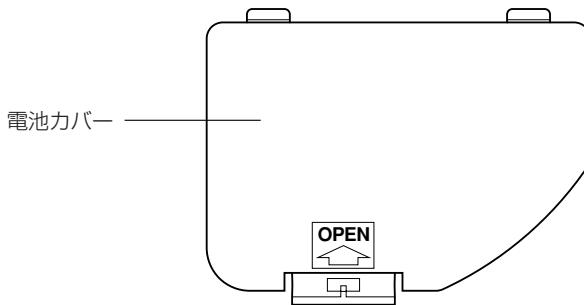
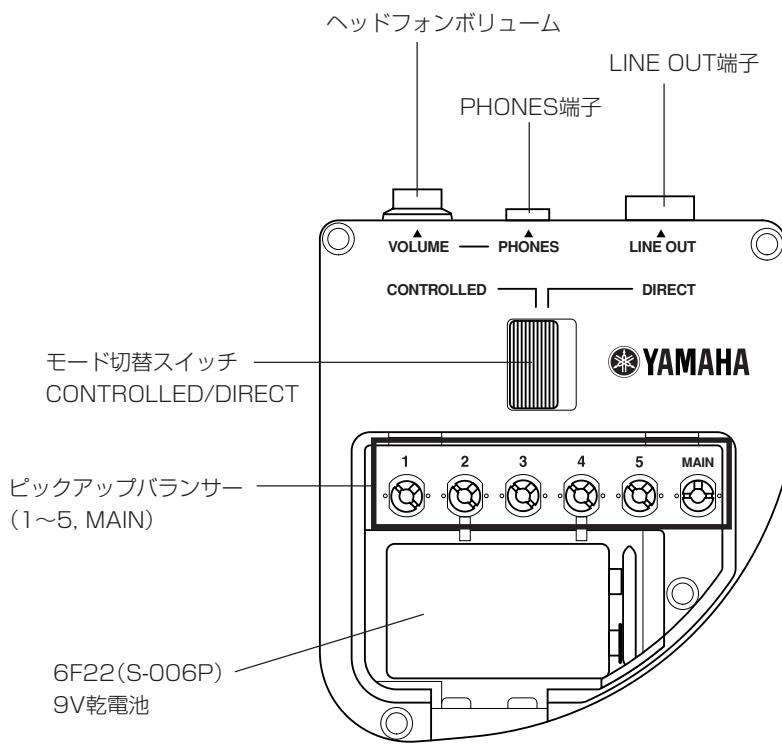
本体各部の名称

● フロント部



* イラストはEV-205

● コントロール部

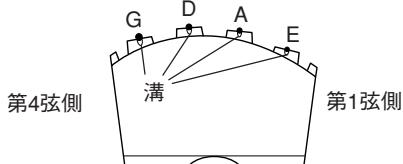


演奏準備

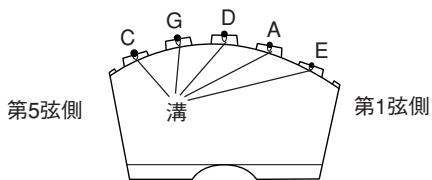
■ 駒の設置について

- 駒は上部の山が低い方が第1弦(E)側、高い方が第4弦(G)側です。向きに注意して正しく取り付けてください。
- 駒は、テールピース側の面が胴に対して垂直になるように立ててください。傾いている場合は、弦をゆるめてから、両手でそっと起こしてください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まっていることを確認してください。
 - * 駒が傾いた状態で使用すると、音質の劣化や駒の破損の恐れがあります。

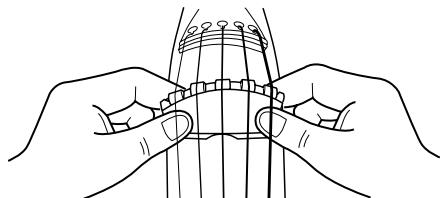
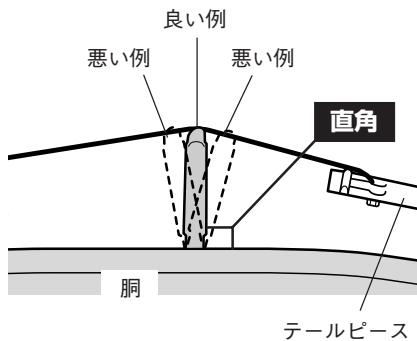
【EV-204】



【EV-205】



【テールピース側から見た図】



【駒は垂直に立てる】

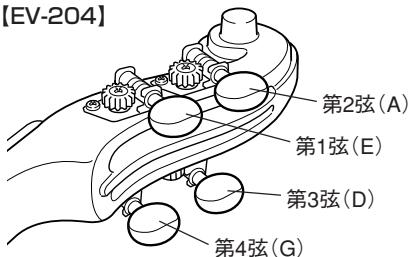
■ 調弦について

- 調弦は、第1弦がE音、第2弦がA音、第3弦がD音、第4弦がG音、第5弦がC音(EV-205)です。

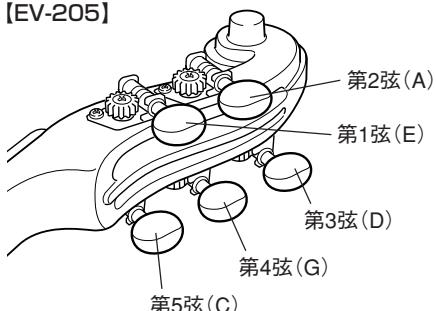
ピアノや音叉、チューナーなどの音に合わせて、糸巻を回してチューニングしてください。

- 調弦後、駒のテールピース側の面が胴に対し
て垂直になっていることを確認してください。
傾いている場合は弦を少しゆるめてから、駒を両手でそっと起こしてください。

【EV-204】

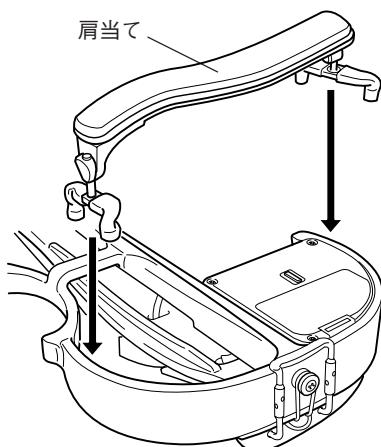


【EV-205】



■ 肩当てについて

本機には、市販のバイオリン(4/4)用肩当てを取り付けることができます。



本製品の部品には天然木が使用されていますので、ご使用の方法や環境によっては、手や身体、衣服が黒ずんだり、木製部品が変色する場合があります。身体に着色しても害はありませんが、十分水で流してください。衣服等の黒ずみ、木製部品の変色に関しては保障いたしかねます。

■ 弦の交換について

弦は古くなると、音質が劣化し、調弦しても音程が合わなくなくなります。

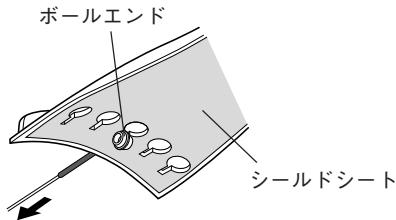
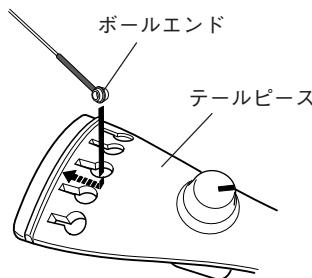
弦が古くなったと感じたら、早めに新しい弦に交換しましょう。

交換の際は専用のヤマハ弦をお使いください。電気雑音が発生しにくい構造を採用しています。全弦を交換する場合も、必ず1本ずつ交換してください。

- 弦の先は鋭利になっています。指に刺したりしないように気を付けてください。
- 弦の交換や調整の際、顔を楽器に近づけすぎないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬけがの原因となることがあります。

1. テールピースに弦をセットします。

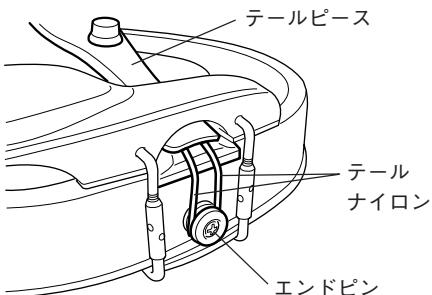
- ・ 弦の端のボールをテールピースの穴に上面から差し込み、弦溝に弦をはめたら、ボールエンドをテールピース裏面に引っ掛けるようにして弦を引き上げます。
- ・ このとき、ボールエンドがテールピース裏面のシールドシートに接触していることを確認してください。



【テールピース裏面から見た図】

注意!

- ・テールナイロンが、正しくエンドピンに掛かっていることを確認してください。



2. 弦を糸巻きの穴に通し、巻いていきます。

- ・第1弦(E)、第2弦(A)は、右図のように、向かって左側へ巻いていきます。
- ・第3弦(D)、第4弦(G)、第5弦(C)は、向かって右側へ巻いていきます。

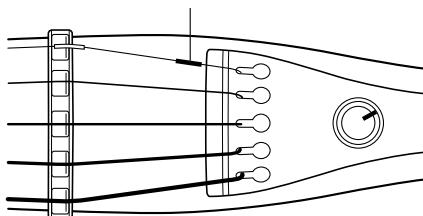
注意!

- ・糸巻の芯棒に、弦が2~3回巻かれた状態でチューニングが合うのが最適です。弦の巻き数が多くても少なすぎても、チューニングの狂いや、演奏時の雑音の原因となります。

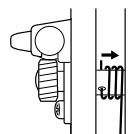
この時、駒が弦に引きずられて指板の方向に倒れないように注意してください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まるようにセットしてください。(駒は、常にテールピース側の面が胴に対して垂直になるようにして立てます。)

第1弦(E)に保護チューブが付いている場合は、雑音防止のため、弦端の方の太くなっている(糸で巻いてある)部分にこのチューブを差し込んで固定してください。

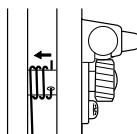
第1弦(E)保護チューブ



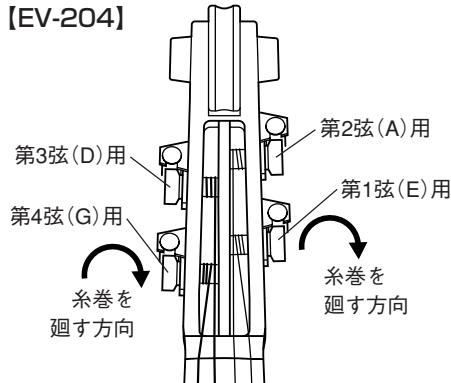
第3弦、第4弦、
第5弦の巻き方向



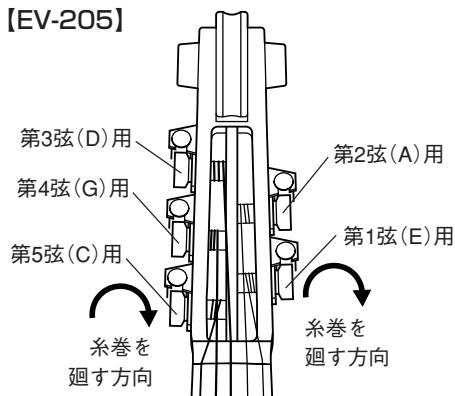
第1弦、第2弦の
巻き方向



【EV-204】



【EV-205】



3. ピアノや音叉、チュナーなどの音に合わせて、糸巻きを回してチューニングします。

- 楽器を長期間使用しない場合は、弦を少しゆるめて保管してください。

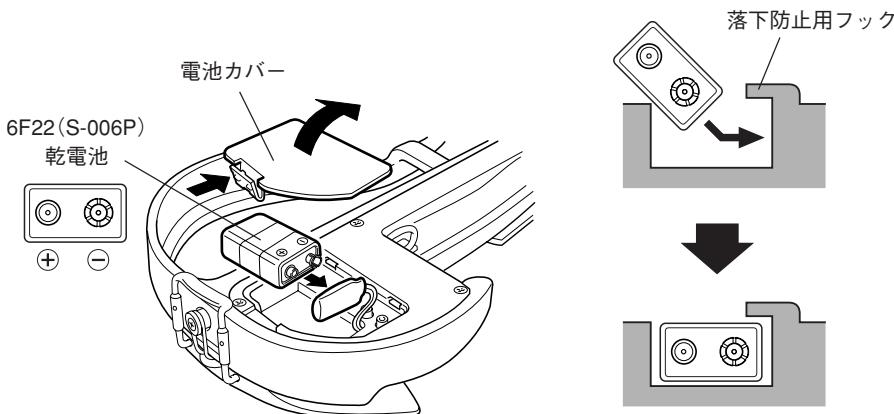
電源の準備

エレクトリックバイオリンは、コントロールモードおよびヘッドフォンを使用する場合、電源として6F22(S-006P)9V乾電池が必要です。

電源の準備をする前に、本体コントロール部のLINE OUT、PHONES端子からプラグを抜いてください。

* ダイレクトモードでお使いになる場合は、電池がなくても動作します。

1. 本体裏面にある電池ケースの、“OPEN”と書いてあるツメを押しながら引き上げ、電池カバーを外します。
2. 電池スナップに、付属の乾電池(6F22 : S-006P乾電池)をセットします。
イラストを参考に、極性(+/-)を間違えないように入れてください。
また、電池が落下防止用フックの下側に入るよう、斜めに挿入してからセットしてください。(下図参照)
※ 落下防止用フックの上側から無理に押し込むと、フックの破損などの原因になります。
3. 電池をケース内にはめ込み、電池カバーを確実に閉じます。



電池が消耗してくると音量が小さくなったり、歪んだりします。そのような場合は以下のことに注意して乾電池を交換してください。電池交換の目安は、P.16の仕様表を参照してください。

- 乾電池は十一の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発火するおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておいてください。乾電池が消耗し、液漏れにより本体を損傷するおそれがあります。

使用方法(コントロール部)

■ 使用モードについて

本機には、ダイレクトモードおよびコントロールモードの2種類の使用方法があります。モードの切替は、本体裏面コントロール部のモード切替スイッチ①で行ないます。

ダイレクトモード(DIRECT)

ピックアップからの出力信号を、そのままLINE OUT端子へ出力するモードで、楽器本来のピュアなサウンドが得られます。

このモードではプリアンプを使用しませんので、電池は不要です(電池がなくても動作します)。

* ダイレクトモードでも、ヘッドフォンを使用する場合は電池が必要です。

コントロールドモード(CONTROLLED)

弦ごとに独立したピックアップからの出力信号を、内蔵ミキシングアンプで調整した後、LINE OUT端子へ出力するモードです。弦間の音量バランスを自由に調整することができます。

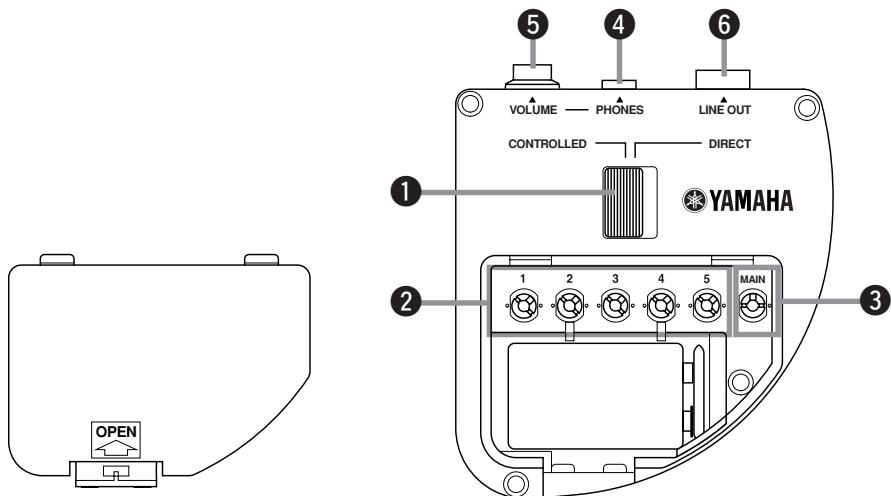
このモードは、電池がないと動作しません。

* モードの切り替えは、Master Volume ⑦ を最小にしてから行なってください。(→14ページ参照)

● 弦間の音量バランスの調整方法(コントロールドモード)

バッテリーカバーを外すと現れる、6つのツマミで弦間の音量バランスを調整します。いずれのツマミも右(時計方向)へ廻すと音量アップ、左(反時計方向)へ廻すと音量がダウンします。ツマミのデフォルト位置は、下記のイラストの通りです。

- ・ 1~5のツマミ②は各弦(1弦~5弦)に対応しています。
* EV-204の5のツマミは機能しません。
- ・ MAINのツマミ③は、1~5弦出力のミキシング後の音量補正用です。



■ ヘッドフォンを使うには

PHONES端子(ミニジャック)④にヘッドフォンなどを接続して、演奏音をモニターすることができます。モニター音量は、VOLUMEツマミ⑤で行ないます。

- * VOLUMEツマミ⑤の設定は、LINE OUT端子出力には影響しません。
- * ダイレクトモードでヘッドフォンを使用する場合は、電池が必要です。

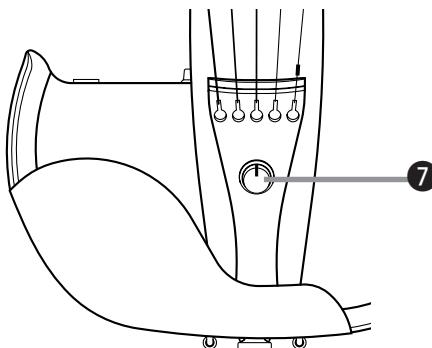
- 大きな音量で長時間イヤホン(ヘッドフォン)を使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

■ 出力音量の調整(マスターボリューム)

テールピース部にあるツマミ⑦は、LINE OUT端子⑥からの出力音量を調整するためのマスター音量です。

右(時計回り)に廻すと音量アップ、左(反時計方向)へ廻すと音量がダウンします。左いっぱいに廻すと出力が“0”(音が出ない)になります。

ダイレクト/コントロールド、いずれのモードでも機能します。



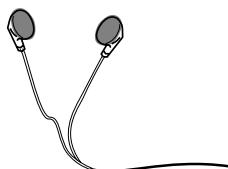
- エレクトリックバイオリンを外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った状態で行なってください。また、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。大音量で聴覚障害を起こしたり、機器を損傷するおそれがあります。
- 電源が入った状態で接続コードが抜けると、機器が損傷するおそれがあります。耳に伝わる衝撃も大きいので注意してください。
- コードを踏まないように注意してください。コードの断線や、接続の外れによる機器の損傷、耳への衝撃などのおそれがあります。
- 本製品は、各出力端子へプラグを差し込むと電源が入ります。省電力のためにも、使用後はすべてのプラグを抜いておいてください。

外部機器との接続例

エレクトリックバイオリン

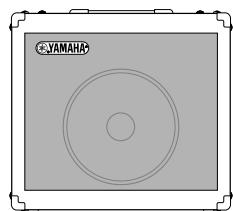
※LINE OUT端子、PHONES端子ともにモノラル仕様です。

ステレオインナーフォンなど

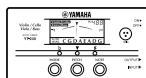


PHONES

ギターアンプ



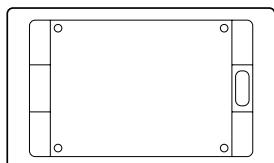
電子チューナー



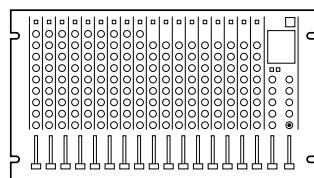
LINE OUT

ギター用プリアンプなど

パワードスピーカー



ミキサーや録音機器



外部機器と接続する際は、接続端子の形状を確認し、必ず端子の規格に合った
プラグのケーブルを用い、確実に接続してください。

本体仕様

棹	メイプル
指板・上駒	エボニー
駒	ピックアップ一体型
ボディフレーム	メイプル
サウンドボード	メイプル
頸当て	エボニー
テールピース	EV204 : エボニー 4穴タイプ EV205 : エボニー 5穴タイプ
糸巻き	ギアタイプ
弦	専用ヤマハ弦 EV4S (4弦モデル用セット)、 EV5S (5弦モデル用セット) EVS-1E (1弦) / EVS-2A (2弦) / EVS-3D (3弦) / EVS-4G (4弦) / EVS-5C (5弦)
ピックアップ	各弦独立ハイパワーピックアップ
コネクター/コントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・モード切替スイッチ(CONTROLLED/DIRECT) ・MASTER VOLUME ・LINE OUT出力(プラグ挿入時電源ON) ・ピックアップバランサー EV204 : 4chミキサー&メインボリューム EV205 : 5chミキサー&メインボリューム <ul style="list-style-type: none"> ・PHONES出力 ・PHONES VOLUME
電源	6F22(S-006P)9V乾電池×1本
電池寿命 (モード=CONTROLLED、連続使用時)	ヘッドフォン使用時 マンガン乾電池:約6.5時間 アルカリ乾電池:約15時間 ヘッドフォン不使用時 マンガン乾電池:約8時間 アルカリ乾電池:約18時間
弦長	328mm (4/4サイズ)
寸法	EV204 : 589(L)×206(W)×126(H)mm EV205 : 601(L)×206(W)×132(H)mm
重量	717g(乾電池含む)
カラーフィニッシュ	アンバー、パールレッド、コスミックブルー

※ 製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。